

江戸時代のにぎわい

～ 発掘された城下町 ～

現代都市の地下から 掘り出された5つの城下町

明石（明石城・明石市）
赤穂（赤穂城・赤穂市）
姫路（姫路城・姫路市）
平福（利神城・佐用町）
山崎（山崎城・宍粟市）

発掘された出土遺物が大集合！

展示会期

1 / 18 → 3 / 13

（毎週火曜休館）

開館時間

10：00～16：00

（入館は15：30まで）

①赤穂城下町跡出土伊万里皿（赤穂市教育委員会蔵）
②姫路城跡出土呉州赤絵盤（姫路市教育委員会蔵）
③山崎城跡出土伊万里皿（宍粟市教育委員会蔵）
④・⑤明石城下町跡出土土人形（明石市蔵）

関連イベント！

事前申込不要！！

学芸員による展示解説

1 / 28 ・ 2 / 23
（土） （木・祝）

いずれも13：30より
解説80分程度

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては
内容を変更する場合があります。

江戸時代のにぎわい

～ 発掘された城下町 ～



姫路城城下町跡の発掘調査

(姫路市教育委員会提供)

長く続いた戦乱の世が終わり、平和になった江戸時代（一六〇三～一八六八年）。人口の増加や産業の発展により、日本各地で城下町が急速に成長・拡大してゆきました。こうした城下町ではそれぞれ個性豊かな産業と文化が育まれ、現在の都市の個性のルーツになりました。

播磨地域でも各地で城下町が発展し、それまでになかった都市のにぎわいが生まれ、それぞれの産業や文化を育んでいきました。

今回の展示では、播磨地区にある発掘された5つの城下町の発掘調査成果や出土遺物から、現代都市のルーツである江戸時代の城下町のようなすをご紹介します。

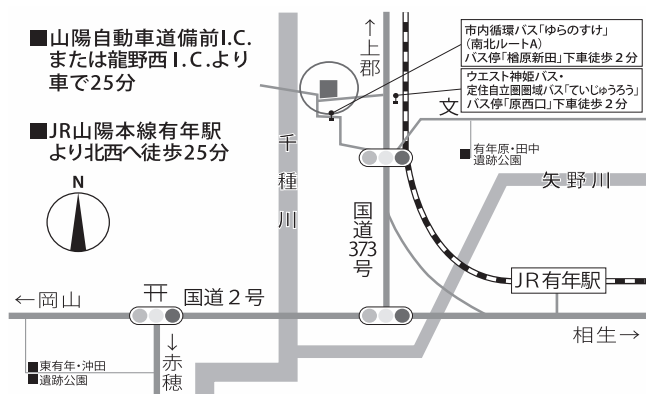


赤穂城下町跡の発掘調査



山崎城（鹿沢城）跡の発掘調査

(宍粟市教育委員会提供)



うね
赤穂市立有年考古館



〒678-1181 兵庫県赤穂市有年檜原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

入館無料

■休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年末年始（12月28日～1月4日）

■開館時間■ 午前10時～午後4時（入館は午後3時30分まで）

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索！

■Mail■ bunkazai@city.ako.lg.jp